

**2021年3月期 第2四半期決算短信(日本基準)(連結)**

2020年10月29日

上場会社名 日東工器株式会社

上場取引所 東

コード番号 6151 URL <https://www.nitto-kohki.co.jp>

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 小形 明誠

問合せ先責任者 (役職名) 執行役員 総務本部長IR担当 (氏名) 野口 浩臣

TEL 03 - 3755 - 1111

四半期報告書提出予定日 2020年11月6日

配当支払開始予定日

2020年12月3日

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

## 1. 2021年3月期第2四半期の連結業績(2020年4月1日～2020年9月30日)

## (1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2021年3月期第2四半期	10,507	23.9	807	64.8	886	61.6	620	61.4
2020年3月期第2四半期	13,812	5.2	2,293	21.1	2,311	22.5	1,606	24.7

(注) 包括利益 2021年3月期第2四半期 618百万円 ( 57.1%) 2020年3月期第2四半期 1,441百万円 ( 20.0%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
2021年3月期第2四半期	30.33	
2020年3月期第2四半期	76.02	

## (2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
2021年3月期第2四半期	60,716	53,606	88.3	2,641.77
2020年3月期	61,809	54,107	87.5	2,620.66

(参考) 自己資本 2021年3月期第2四半期 53,598百万円 2020年3月期 54,100百万円

## 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2020年3月期		31.50		21.50	53.00
2021年3月期		12.50			
2021年3月期(予想)				8.50	21.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 有

配当予想については、本日(2020年10月29日)公表いたしました「業績予想の修正ならびに剰余金の配当(中間配当)および配当予想の修正に関するお知らせ」をご覧ください。

## 3. 2021年3月期の連結業績予想(2020年4月1日～2021年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	21,200	21.6	1,430	63.9	1,510	62.2	1,040	62.2	51.06

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 有

連結業績予想については、本日(2020年10月29日)公表いたしました「業績予想の修正ならびに剰余金の配当(中間配当)および配当予想の修正に関するお知らせ」をご覧ください。

## 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 有

(注)詳細は、添付資料P.8「2.四半期連結財務諸表及び主な注記(4)四半期連結財務諸表に関する注記事項(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)」をご覧ください。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無

以外の会計方針の変更 : 無

会計上の見積りの変更 : 無

修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

期末発行済株式数(自己株式を含む)	2021年3月期2Q	21,803,295 株	2020年3月期	21,803,295 株
期末自己株式数	2021年3月期2Q	1,514,307 株	2020年3月期	1,159,707 株
期中平均株式数(四半期累計)	2021年3月期2Q	20,446,143 株	2020年3月期2Q	21,126,083 株

四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

## 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

(将来に関する記述等についてのご注意)

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項については、添付資料P2「1.当四半期決算に関する定性的情報(3)連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報 .....	2
(1) 経営成績に関する説明 .....	2
(2) 財政状態に関する説明 .....	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明 .....	2
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記 .....	3
(1) 四半期連結貸借対照表 .....	3
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書 .....	5
四半期連結損益計算書	
第2四半期連結累計期間 .....	5
四半期連結包括利益計算書	
第2四半期連結累計期間 .....	6
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書 .....	7
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項 .....	8
(継続企業の前提に関する注記) .....	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記) .....	8
(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用) .....	8
(追加情報) .....	8
(セグメント情報等) .....	9

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

## (1) 経営成績に関する説明

当第2四半期連結累計期間における世界経済は、新型コロナウイルス感染症の影響により、悪化が続き厳しい状況となりました。日本経済においても、感染拡大防止対策を講じつつ経済活動を再開しているものの、依然として先行きが不透明な状況が続いております。回復には時間を要すると見込まれます。

このような経営環境の中で、当社グループは、新型コロナウイルス感染症の拡大に伴う需要減少などの影響を受け、当第2四半期連結累計期間における売上高は105億7百万円となり、前第2四半期連結累計期間138億12百万円と比較すると、23.9%の減収となりました。利益面では、営業利益は8億7百万円となり、同22億93百万円と比較すると64.8%の減益、経常利益は8億86百万円となり、同23億11百万円と比較すると61.6%の減益、親会社株主に帰属する四半期純利益は6億20百万円となり、同16億6百万円と比較すると61.4%の減益となりました。

事業のセグメント別の業績は、次のとおりです。

迅速流体継手事業は、国内外の設備投資需要の停滞が続き、売上高は42億69百万円（前第2四半期連結累計期間比28.3%の減収）となりました。利益面では、減収により、営業利益6億84百万円（同55.8%の減益）となりました。

機械工具事業は、堅調であった建設業界向けの販売が減少し、売上高は32億53百万円（同30.2%の減収）となりました。利益面では、減収及び生産調整により、営業利益27百万円（同95.3%の減益）となりました。

リニア駆動ポンプ事業は、国内外ともに堅調に推移し、売上高は20億19百万円（同1.5%の増収）となりました。利益面では、営業利益は71百万円（同248.4%の増益）となりました。

建築機器事業は、国内とアジアでの需要に一服感があり、売上高は9億65百万円（同20.2%の減収）となりました。利益面では、減収及び経費の増加により、営業利益24百万円（同82.8%の減益）となりました。

海外売上高は、33億29百万円（前第2四半期連結累計期間比12.9%の減収）となり、海外売上高の連結売上高に占める割合は31.7%となりました。

## (2) 財政状態に関する説明

当第2四半期連結会計期間末の資産合計は、607億16百万円となり、前連結会計年度末と比較して10億92百万円の減少となりました。

資産の部では、流動資産は433億88百万円となり、前連結会計年度末と比較して11億66百万円の減少となりました。これは主に電子記録債権の減少9億48百万円、受取手形及び売掛金の減少7億41百万円、商品及び製品の増加5億7百万円によるものであります。

固定資産は、173億27百万円となり、前連結会計年度末と比較して74百万円の増加となりました。これは主に投資有価証券の増加2億48百万円、繰延税金資産の減少95百万円、有形固定資産の減少43百万円及び無形固定資産の減少33百万円等によるものであります。

負債の部では流動負債は、28億45百万円となり、前連結会計年度末と比較して7億11百万円の減少となりました。これは主に未払法人税等の減少2億76百万円、支払手形及び買掛金の減少72百万円、賞与引当金の減少57百万円及びその他の減少3億1百万円の減少等によるものであります。

固定負債は、42億64百万円となり、前連結会計年度末と比較して1億20百万円の増加となりました。これは主に役員退職慰労引当金の増加43百万円、リース債務の増加41百万円及び退職給付に係る負債の増加25百万円等によるものであります。

純資産の部では、親会社株主に帰属する四半期純利益は、6億20百万円でしたが、配当金の支払い4億42百万円があったため、利益剰余金は、1億76百万円の増加で523億78百万円となりました。また、自己株式が6億75百万円の増加、その他有価証券評価差額金が1億72百万円の増加及び為替換算調整勘定が1億96百万円の減少等があったため純資産の部は、536億6百万円となり、前連結会計年度末と比較して5億1百万円の減少となりました。

## (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2021年3月期連結業績予想及び配当予想について、新型コロナウイルス感染症の事業への影響が合理的に予想できず、業績への影響も非常に大きいことから、未定としておりましたが、現時点で入手可能な情報や予測等に基づき算定いたしましたので、公表いたします。

なお、詳細につきましては、2020年10月29日に公表いたしました「業績予想の修正ならびに剰余金の配当（中間配当）および配当予想の修正に関するお知らせ」をご参照ください。

## 2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

## (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2020年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (2020年9月30日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	25,399	25,273
受取手形及び売掛金	4,481	3,740
電子記録債権	2,459	1,511
有価証券	5,499	5,499
商品及び製品	3,766	4,273
仕掛品	256	235
原材料及び貯蔵品	2,298	2,353
その他	396	503
貸倒引当金	△2	△2
流動資産合計	44,555	43,388
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物	11,257	11,262
減価償却累計額	△5,952	△6,092
建物及び構築物(純額)	5,304	5,169
機械装置及び運搬具	4,324	4,297
減価償却累計額	△3,117	△3,186
機械装置及び運搬具(純額)	1,206	1,111
工具、器具及び備品	7,195	7,214
減価償却累計額	△6,616	△6,634
工具、器具及び備品(純額)	578	579
土地	3,674	3,669
リース資産	2,057	2,158
減価償却累計額	△844	△900
リース資産(純額)	1,213	1,257
建設仮勘定	271	417
有形固定資産合計	12,249	12,206
無形固定資産		
その他	666	633
無形固定資産合計	666	633
投資その他の資産		
投資有価証券	2,693	2,942
長期貸付金	46	42
繰延税金資産	1,368	1,272
その他	244	246
貸倒引当金	△15	△15
投資その他の資産合計	4,337	4,488
固定資産合計	17,253	17,327
資産合計	61,809	60,716

(単位:百万円)

	前連結会計年度 (2020年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (2020年9月30日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形及び買掛金	798	725
リース債務	256	262
未払法人税等	557	280
賞与引当金	561	504
役員賞与引当金	21	12
その他	1,361	1,060
流動負債合計	3,557	2,845
固定負債		
リース債務	953	995
退職給付に係る負債	2,624	2,650
役員退職慰労引当金	227	271
資産除去債務	11	10
その他	326	337
固定負債合計	4,144	4,264
負債合計	7,701	7,109
純資産の部		
株主資本		
資本金	1,850	1,850
資本剰余金	1,924	1,924
利益剰余金	52,201	52,378
自己株式	△2,216	△2,892
株主資本合計	53,759	53,259
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	509	682
為替換算調整勘定	△3	△199
退職給付に係る調整累計額	△165	△143
その他の包括利益累計額合計	340	339
非支配株主持分	7	7
純資産合計	54,107	53,606
負債純資産合計	61,809	60,716

## (2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

(四半期連結損益計算書)

(第2四半期連結累計期間)

(単位:百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2020年4月1日 至 2020年9月30日)
売上高	13,812	10,507
売上原価	6,712	5,436
売上総利益	7,100	5,071
販売費及び一般管理費		
給料及び手当	1,245	1,221
賞与引当金繰入額	353	278
退職給付費用	82	103
役員退職慰労引当金繰入額	17	44
販売促進費	429	247
研究開発費	427	397
その他	2,250	1,971
販売費及び一般管理費合計	4,806	4,264
営業利益	2,293	807
営業外収益		
受取利息	14	10
受取配当金	40	38
雇用調整助成金	-	60
受取家賃	16	18
その他	27	34
営業外収益合計	98	161
営業外費用		
売上割引	51	42
為替差損	24	16
その他	5	23
営業外費用合計	81	82
経常利益	2,311	886
特別利益		
投資有価証券売却益	30	-
特別利益合計	30	-
税金等調整前四半期純利益	2,342	886
法人税等	735	266
四半期純利益	1,606	620
非支配株主に帰属する四半期純利益	0	0
親会社株主に帰属する四半期純利益	1,606	620

(四半期連結包括利益計算書)  
 (第2四半期連結累計期間)

(単位:百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2020年4月1日 至 2020年9月30日)
四半期純利益	1,606	620
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△140	172
為替換算調整勘定	△29	△196
退職給付に係る調整額	5	22
その他の包括利益合計	△164	△1
四半期包括利益	1,441	618
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	1,441	618
非支配株主に係る四半期包括利益	0	△0

## (3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位:百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2020年4月1日 至 2020年9月30日)
<b>営業活動によるキャッシュ・フロー</b>		
税金等調整前四半期純利益	2,342	886
減価償却費	640	709
退職給付に係る負債の増減額(△は減少)	12	58
受取利息及び受取配当金	△55	△48
投資有価証券売却損益(△は益)	△30	-
売上債権の増減額(△は増加)	120	1,672
たな卸資産の増減額(△は増加)	△548	△590
仕入債務の増減額(△は減少)	△88	△63
未払消費税等の増減額(△は減少)	△24	△107
その他	△586	△200
小計	1,781	2,316
利息及び配当金の受取額	66	61
法人税等の支払額又は還付額(△は支払)	△379	△531
営業活動によるキャッシュ・フロー	1,468	1,846
<b>投資活動によるキャッシュ・フロー</b>		
定期預金の預入による支出	△14,135	△18,228
定期預金の払戻による収入	14,348	16,928
投資有価証券の取得による支出	△14	△11
投資有価証券の売却による収入	53	-
有価証券の取得による支出	△400	△1,599
有価証券の償還による収入	1,000	1,000
有形固定資産の取得による支出	△500	△529
無形固定資産の取得による支出	△108	△79
その他	11	0
投資活動によるキャッシュ・フロー	255	△2,519
<b>財務活動によるキャッシュ・フロー</b>		
自己株式の取得による支出	△627	△675
配当金の支払額	△733	△442
リース債務の返済による支出	△122	△132
その他	△0	-
財務活動によるキャッシュ・フロー	△1,483	△1,250
現金及び現金同等物に係る換算差額	7	△65
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	248	△1,989
現金及び現金同等物の期首残高	13,835	13,334
現金及び現金同等物の四半期末残高	14,083	11,345

(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)

(税金費用の計算)

税金費用については、当第2四半期連結会計期間を含む連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しております。ただし、当該見積実効税率を用いて税金費用を計算すると著しく合理性を欠く結果となる場合には、法定実効税率を使用する方法によっております。

(追加情報)

新型コロナウイルス感染症の感染拡大に関する会計上の見積もり

新型コロナウイルス感染症の影響については、今後の広がり方や収束時期を正確に予測することは困難な状況にありますが、2021年3月期においては、2020年5月まで政府から発令された緊急事態宣言や、自治体からの外出自粛要請等による経済活動の縮小により売上高の減少が発生しているものの、同年10月以降、2021年3月期の一定期間にかけて当該状況が正常化してゆくと仮定に基づき繰延税金資産の回収可能性等の会計上の見積りを行っております。

なお、前連結会計年度から重要な変更はありません。

(セグメント情報等)

## 【セグメント情報】

## I 前第2四半期連結累計期間(自2019年4月1日至2019年9月30日)

## 1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント				合計
	迅速流体継手	機械工具	リニア駆動ポンプ	建築機器	
売上高					
外部顧客への売上高	5,952	4,661	1,988	1,209	13,812
セグメント間の内部売上高 又は振替高	-	-	-	-	-
計	5,952	4,661	1,988	1,209	13,812
セグメント利益	1,549	581	20	142	2,293

セグメント利益の合計額は、四半期連結損益計算書の営業利益と一致しております。

## 2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

## II 当第2四半期連結累計期間(自2020年4月1日至2020年9月30日)

## 1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント				合計
	迅速流体継手	機械工具	リニア駆動ポンプ	建築機器	
売上高					
外部顧客への売上高	4,269	3,253	2,019	965	10,507
セグメント間の内部売上高 又は振替高	-	-	-	-	-
計	4,269	3,253	2,019	965	10,507
セグメント利益	684	27	71	24	807

セグメント利益の合計額は、四半期連結損益計算書の営業利益と一致しております。

## 2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。